

広報

かわにし

(毎月10日発行)

昭和59年 7/10 No.311

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き	
— 7月1日現在 —	
男	4,815 (±0)
女	4,931 (±0)
計	9,746 (±0)
世帯数	2,342 (-2)
() 前月比較	



町では、「喜寿の祝い」を先月二十九日、松葉荘で行いました。今年七十七歳を迎えたお年寄りには、明治四十一年生まれの方で、町内には、七十三人(男二十九人・女四十四人)の方がお住いです。このうちの五十四人(男二十四人・女三十人)が出席しました。

町長から「皆さんの長年のご苦労に対してのお祝いです。額のしわには尊い歴史が刻まれています。健康で長生きしてください」と祝福を受け、「米寿、白寿を目ざします。毎日をなんとなく過ごすのではなく、希望を持ち続けがなくなります」と張り切りました。

欠席した方にも、朱塗りの木杯などのお祝い品をお届けしました。

7月の休日救急医

15日	第二藤巻医院(上野)
22日	池田医院(本町西)
29日	山口医院(袋町)

8月上旬の予定

5日	富田医院(神明町)
12日	千手診療所

議会 報告

第三回町議会定例会が、六月二十六日から七月十七日までの二十二日間の会期で開かれています。

今回は、前半分の六月二十六日と二十七日の概要について報告します。

二十六日は、町政に対する一般質問や専決処分事件の承認、二十七日には、条例関係や補正予算が審議されました。これらは、いずれも原案どおり可決、または承認されました。定例会の再開は七月十七日となります。

八氏が一般質問に立つ

早急な

雪対策を

◆ 保坂次夫議員

①雪の対策について

冬期間の交通確保は流雪溝以外ないと考える。町は、プロジェクトチーム等を作り、雪の対策に取

トップ質問の保坂議員



克雪対策の一環として、克雪住宅建設に対する融資の制度を新設した。さらに今定例会で豪雪基金制度を設け、物心両面の備えをしていきたい。

克雪対策は、この地方に人が住んでいる限り続いていく。衆知を結集し、その時代にふさわしい対応、施策をする必要がある。

役場庁内では、職員代表から成るチームづくりをする。議会の雪害対策特別委員会を中心として調査研究をお願いしたい。

②十日町市側から、下水処理場の汚泥を霧谷で処理してほしいと、昨年十月二十五日に申し出があった。可否の回答は保留した。その理由は、関係住民に協議をして、同意を得なければならぬからである。住民協議をするには市から資料を提供してもらわなければならない。

り組んでどうか。六十年に向かって早急な対策を願いたい。

②産業廃棄物と公害問題

十日町市の下水処理場の汚泥処理問題についてのその後。工業団地の産業廃棄物の霧谷での処理問題。メッキ工場の進出と公害問題についての考え。

③議場等の改造について

議場等の改造を本年中に着手できないか。

◆ 南雲 町長

①今までの雪対策は、道路除雪に焦点をおいていた。これからは総合的な対策を行政だけでなく、住民参加を求めて、地域ぐるみで行う必要があると感ずる。

らない。町から市に対して住民協の資料を請求する立場ではない。その後正式な話はない。染色団地のものは、量的にも質



答弁する南雲町長

的にも問題はないという衛生施設組合の判断である。必要な処理をして霧谷に投棄している。

き上げ運動を盛り上げるべきだと考えるが、町長の所信をお伺いする。

◆ 南雲 町長

○私見を申し述べる。わが国の食糧自給度は、先進諸国中最低である。食糧は国民生存のための最も基本的な要素である。自給度引き上げは国の最重要策として行うべきと考える。

食糧の自給調整は、長期的な視

生産調整

見直し運動が必要

◆ 戸田哲次議員

○生産調整第二期対策の見直しと

コメ政策について

農業立町のスローガンで町政を進める川西町のあり方として、韓国米を緊急輸入するこの時期を真剣にとらえ、関係団体と一体となって農政の転換(生産調整の見直し)の運動、それに生産者米価引

塩辛地内に誘致しようとする話を進めている企業の作業工程の中にメッキ処理が含まれている。メッキ工程が導入されれば、県条例によって規制を受ける。町としては、県条例以上に厳しい措置をするかの細部の検討はしていないが、県からはそれ以上の規制をする必要はないとの指導を受けている。誘致できる段階になれば、改めて公害防止協定を結んで十分に監視し、関係の地域に公害によって迷惑をかけることのないようにしなければならぬ。公害防止協定の締結ができれば、誘致を断念しなければならぬ。

③せっかく改造するのであれば、しばらくは手をかけなくても済む状況にしたい。六十年に本格的に取り組むのがかえって長期的にはよいと判断している。

野に立つて段階的に行い、現行の食糧制度は、これを長く堅持すべきと考えている。米価の決定については、極めて慎重に対応すべきものであると考える。

米づくりが農業の柱である川西町にとって、生産調整は実に大きな問題である。生産組合の体質強化、あるいは土地改良費の元利償還というようなたたためにも、できれば生産調整を回避したいというのが偽らざる心境である。

雪処理条例の 制定は

◆ 上村 広治 議員

○消雪に必要な地下水源の確保と
 克雪住宅の改造促進および雪処
 理条例の制定について

(1) 流雪に必要な水資源の確保と消
 雪パイプの地下水源についての考
 え。

の深井戸を掘り、千手から原田に
 至る消雪パイプ（県道）に流して
 どうか。

(2) 克雪住宅の建築改造の促進
 克雪生活圏整備事業を申請した
 りして、克雪住宅への呼びかけを
 強めてほしい。

(3) 雪処理条例の制定について
 屋根雪処理や道路除雪などを盛
 り込んだ雪処理条例を作る考えは。

◆ 南雲 町長

川西ダムの上流に二百メートル
 くらいの深井戸を掘り、かんがい
 用水の補給や消雪用水に使ってほ
 うか。地下水の流れに沿って二
 か所くらい二百五十メートル以上

(1) 信濃川によって東西に二分され
 た郡市の状況を見ると、それぞ
 れの分水嶺から信濃川までの直線距
 離は、右岸（十日町市側）は平均

林道幹線に 名称を

◆ 滋野 一郎 議員

○林道の補修と管理について

(1) 高倉の頂上から白倉・野口まで
 の東部と西部の分水嶺を縦断する
 林道幹線に名称を付ける考えは。

(2) 林道全般の維持管理がおろそか
 になっていくようだ。管理は産業
 課なのか建設課なのか。補理管理
 についての施策は。

たる昭和六十一年度に、記念事業
 の一つとして取り上げ、名称公募
 をしたい考えである。

県単の補助も一部つき、来年、
 再来年と実施することによって、
 ほぼ全線が貫通するという期待も
 込めている。

(2) 物を作る場合や施設を設ける際
 は、常にそれをどのように維持管
 理していくかということを行行し
 て考えなければならぬ。

作ったものが町民の皆さんにど
 のように利用され、役だっている
 かということが重要な事柄である。
 林道の所管課は産業課である。

管理の不十分なところは早急に調
 査し、必要な対応をしたい。

◆ 南雲 町長

(1) 私は、町村合併の二十周年に当

して十キロ、左岸（川西町側）は
 五キロしかない。距離が短ければ
 必然的に地下に浸透する水の量は
 少ないと考えられる。表流水も少
 なくなる。川西側は慢性的な水不
 足に悩まされてきた。

このことは、川西町の水対策、
 水問題を考える上で極めて重要な
 事柄である。

水資源については、川西町では
 使用制限を実施している。制限と



婦人学級（千手・上野・白倉）が傍聴

乾電池公害 対策は

◆ 小林 寅雄 議員

○乾電池公害対策について

最近新たな公害として、「乾電
 池公害」が全国的に問題となっ
 ている。

川西町では、乾電池類は生ゴミ
 に混入したものは焼却場へ、不燃

ともにかん養についても対応する
 必要がある。

地下水の絶対量が不足している
 状況のところ、新しい発電所問題
 が浮上してきた。これらの問題は、
 同時に解決策を模索することが必
 要と考える。

(2) 克雪生活圏整備事業は、国全体
 としての枠が少なく、したがって
 事業の導入は早期にはなかなか困
 難と考える。しかし克雪対策の総
 合的な検討の中で、この事業の受

性ゴミとともに収集されたものは
 霧谷埋立地で処理されている。

埋め立てられた乾電池は、歳月
 の経過とともに腐食し、水銀は土
 壌に流れ出し、やがて地域・河川
 の環境汚染を引き起こす。また焼
 却した場合は煙とともに水銀が空
 気中に排出され大気汚染を招き、
 残灰は埋立地に運ばれる。

衛生施設組合運営の霧谷埋立地
 の所在する川西町は、自己防衛の
 ため率先して乾電池公害対策に取
 り組むとともに、十日町市に対し
 ては協力を強く要請してほしい。

◆ 南雲 町長

○十日町市と川西町で発生する使
 用済み乾電池の全部が、焼却灰や
 不燃ゴミとして、霧谷埋立地へ運
 ばれているのが現状である。

六月一日に衛生施設組合の管理

け皿を整えておく必要を痛感する。
 克雪住宅貸し付けについては、
 本年度制度を満足させたが、災害
 などで予期しない建築が出て、申
 請があった場合は、極力これに応
 じるようにしたい。

(3) 克雪対策全体の見直しの中で考
 えたい。雪処理条例の制定は、条
 件づくり、環境づくりをしてから
 である。住民意識の改革やモラル
 の高揚は、条例制定以前の問題で
 あると受け止めている。

者である十日町市長を訪ね、次の
 事項を要請した。①霧谷処理場
 における水銀含有量調査、土壌調査
 を早急に実施してほしい。②使用
 済み乾電池の回収を早急に実施し
 て、速やかに霧谷で処理する方法
 をやめるように措置してほしい。

付け加えて、川西町では小・中
 学校や乾電池の販売店、あるいは
 集落のゴミステーションなどに回
 収容器を設置して積極的に回収す
 ること、回収されたものは、施
 設組合の手によって定期的にこれ
 を集め、保管しておく措置を講じ
 たい旨も伝えた。

たとえ費用がかかるとしても、
 環境保全ということは、これから
 の行政の大きな課題として取り組
 まなければならぬ。霧谷の場合
 は、川西町が一方的に被害者であ
 るということも市からこの際よく
 理解していただきたい。

一般質問

造林作業員

雇用の今後

◆ 若山 三郎 議員

① 町行造林作業員の衛生管理と休憩所建設について

町行造林は着上から十周年を迎え、三百七十ヘクタールが年次計画どおりに植林された。この事業施工の陰には作業員の努力がある。健康管理の点からも休憩所を建設願いたい。

② 造林作業員雇用の今後のあり方
現在は、体験も豊富で植林に対する素養のある方が多いが、年々減少していくことは免れない。できるならば青年層の通年雇用を図っていたきたい。

◆ 南雲 町長

① 休憩施設の建設については、作業員から直接要請を受けた事柄でもある。

町内の山林面積の三分の一を植林することが町の計画であるが、植えるだけでも昭和七十五年までかかる。その保育までということになると、今後百年近く山の仕事が続く。

現実の問題として、どこにどういふ物をとということ、冬期間の管理方法についての検討が必要である。どんな建物がいちばんいいのかを調べるよう担当課に指示している。

② 作業員の高齢化が進んでいる。通年雇用を考える時、冬の時期をいかに補うかが問題となる。通年雇用については、先進地視察なども行い、前向きで検討したい。

北越北線第3セクター出資金配分

出資団体名	出資額	比率	
新潟県	141,000円	47.0%	
市	越前市	31,000	10.3
	十日町	31,000	10.3
	安塚町	2,000	0.6
	浦川原村	3,000	1.0
	松代町	5,000	1.6
	松之山町	2,000	0.6
	大島村	3,000	1.0
	大牧村	1,000	0.3
	大鰐村	3,000	1.0
	三川町	3,000	1.0
	津和野町	1,000	0.3
	中湯村	1,000	0.3
町	湯塩六	4,500	1.5
	沢口	1,000	0.3
	沢口	5,500	1.8
	民間団体	60,000	20.0
合計	300,000	100.0	

「近ごろ 気になる話」

◆ 戸田 専治 議員

○ 「近ごろ気になる話」について

① 国鉄信濃川発電所工事関係
② 完成後の清津川ダムからの必要水量を建設省に申し出ているはずだが、要求した水量はいくらか。
③ その流水と、今回の計画の宮中取水（毎秒百五十トン）とのからみ。

④ 導水管敷設による影響が現れることが推測されるが、プロジェクトチームを作る考えは。

⑤ 川東側と呼応して資料を国鉄側に要求し、町民世論の喚起を図るべきでないか。

⑥ 導水管敷設ルートに個人所有地が含まれると思われるが、関係所有者の「言いたいこと」を聞く会設置の考えは。

⑦ 第三セクターによる北越北線工事再開関係

⑧ 「北越北線を第三セクターで実現させよう」というチラシには、沿線開発計画を第三セクターで計画していくことになっているが、どうか。

⑨ 復建エンジニアリングの調査報告書によれば営業四年目の昭和六十八年から赤字経営になることになっているが、赤字が出た場合、

川西町の財政に影響はないのか、どうか。
⑩ 浦佐駅駐車場関係
昨今の利用度はしりつばみの傾向だが。

◆ 南雲 町長

① ④ 四十八年度の調査であるが、四十九年度と六十年年度の水需要量を具が担当で調べた。建設省ではこの数字を握っている。

川西町でも水資源需給の見直しを立て、四十九年度と六十年年度の開き分（増加分）全量を清津川ダムに依存したいということ資料を提出した。

この量は、生活用水が百四十一万一千立方メートル、農業用水五百二十三万二千立方メートルなど、年間合計九百四十三万二千立方メートルである。

しかし、この時の数字は六十年にはダムが完成しているという想定で出されたもので、建設省では改めて関係市町村の総合的な水需要調査をしたいとのことである。

② 清津川から信濃川を通して利水者に配られる仕組みになるが、この水は発電用に宮中で貯水される水ではない。

③ この定例会で議会内に特別委員会を設置していただき、調査研究を願いたい。職員のチームについては人選を終え、対応できる態勢

にしてある。国鉄との交渉もひんばんにやりたいと考えている。
③ 国鉄側から具体的な計画内容などを説明してもらい、それによって活動するのが最も望ましいと判断をして、今までは比較的冷静を保っていた。

◆ 私所有地については権利者の同意がなければ管路の掘削は行われな

い。住民は、行政から自分たちの考え方や希望を極力集約してもらい、できれば仲介の役割を果たしてほしいと期待するのではないかと期待があるとすれば、これに応えるように努力するのが行政の責務である。

④ 沿線の開発を第三セクターが行うということはない。

⑤ 復建エンジニアリングの調査報告書にはかなりの疑問を抱いている一人である。赤字が出た場合、創業開始後五年は赤字額の二分の一を国が補助することである。赤字額は、県と十七市町村の出資分二億四千万円に対する引き

受けた資本の額に比例をして責任を負うことになるであろう。川西

町の出資額は百万円で、二百四十分の一の資本参加ということになる。赤字が出た場合、株主としての川西町の財政には影響がある。

③ 浦佐駅駐車場は、十日町市、川西町、高柳町で共同管理をしている。幹事は十日町市である。最近利用度が落ち込んでいる。

宅地分譲の

方法は

◆ 平野正義議員

○宅地造成について

山野田の国鉄払い下げ用地に宅地造成工事が行われているが、分譲方法、住宅建設期限、代金の支払い方法を伺いたい。

◆ 南雲町長

○完成は九月になる見込みである。募集方法は広報紙（お知らせ版を含む）で行う。必要があれば地元紙の協力を得る。

売り出す区画は十五である。区画ごとに希望者を募り、二人以上の場合には抽選で決めたい。

分譲価格は、国鉄からの取得価格に造成費をプラスして、さらに二、三パーセントの事務費を加えて基本的な価格を決めたい。標準的な価格としては、一平方メートル当たり、一万五、六千円くらいで売却できるのではないかと考えている。

住宅の建設は、契約の日から四年以内に建設に着手し、五年以内に入居することが原則である。

代金の納入は原則としては一時払いであるが、一年以内であれば分割の相談に応じる考えがある。

専決処分事件の承認

59豪雪による 雪害対策に 5,692万円を追加

▽五十八年度一般会計補正予算

(専決第九号)

財政調整基金、その他の基金について運用益金の精算処理などを行うための補正です。

二千六百二十九万八千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二十九億四千一百三十三万二千円としました。

▽税条例の一部改正

個人の町民税の非課税の範囲の引き上げがありました。また、固定資産の課税免除の対象に、農業構造改善対策事業によって新たに取得した施設などを加えました。このほか、軽自動車税の税率改正なども行われています。

▽五十九年度一般会計補正予算

(専決第一号)

五九豪雪による春季雪害対策に伴う補正予算です。

五千六百九十二万九千円を追加し、予算総額は歳入歳出それぞれ二十七億八千九百九十二万九千円となりました。

歳入は、県補助金が八百七十九万二千円、一般寄付金が千二百三十三万八千円、それに財政調整基金繰入金三千六百万円で賄っています。

歳出では、農業振興費に二千六

百一十五万八千円、道路除雪費に二千八百三十六万九千円、などとなっています。

▽五十九年度簡易水道事業特別会計補正予算 (専決第三号)

国道404号線小白倉地内の改良工事により、配水管布設替えが必要となったための補正です。四百二十五万六千円の追加です。

▽五十九年度一般会計補正予算

(専決第二号)

五十八年度の国民健康保険診療所特別会計と仙田へき地出張診療所特別会計の歳入に不足を生じ、その繰上充用に要する額を両会計へ繰り出すための予算補正です。千三百三十七万四千円を追加しました。

▽五十九年度国民健康保険診療所特別会計補正予算 (専決第四

号)

五十八年度のこの会計の歳入に不足が生じたため、五十九年度の歳入で繰上充用をしました。額は四百二十三万七千円です。

▽五十九年度仙田へき地出張診療所特別会計補正予算 (専決第五号)

こちらも五十八年度会計の歳入に不足が生じたための補正です。七百十三万七千円を一般会計から繰り入れ、歳入不足を補てんしました。

▽五十九年度老人保健特別会計補正予算 (専決第六号)

五十八年度会計の歳入に四十二万六千円の不足が生じたため、五十九年度の歳入で繰上充用をしました。ほかに償還金も三百四十七万二千円増やしました。



議 会 風 景

監査委員に 清水信一氏を再選

監査委員の清水信一氏(中屋敷)の任期が、6月30日に満了します。再選したい旨提案され、同意されました。任期は4年です。

損害評価会委員も 決まる

次の方々が損害評価会委員に委嘱されました。任期は3年です。損害評価会は、共済事故に関する損害の防止や認定などについて調査審議する機関です。(敬称略)

- 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬)
- 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬)
- 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬)
- 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬)
- 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬)
- 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬)
- 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬)
- 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬)
- 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬)
- 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬) 野口(野瀬)

信濃川架橋

促進委員会条例を制定

議会報告

条例関係

▽監査委員条例の一部改正
例月検査を二十八日にしました。

▽豪雪対策基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定
異常豪雪時の除排雪対策、防雪・克雪関係施設の設置、整備の資金に充てるため、豪雪対策基金を設けました。

▽工場誘致条例の制定
工場誘致条例は、町内に製造の事業を行う工場の設置、または誘致を促進するため、奨励措置を講じて設置を容易にし、それにより、産業の振興を図ることが目的です。

▽信濃川架橋促進委員会条例の制定

川西町の交通体系の整備促進を図り、地域の開発振興を推進するために架橋促進委員会を設けました。委員会は町長の諮問に応じ、①信濃川架橋位置と取付道路の選

▽税条例の一部改正
町民税所得割の税率改正です。実施は来年からです。

▽老人家庭奉仕員派遣に伴う費用徴収条例の一部改正
利用者負担額を一時相当たり、生計中心者の前年所得税額が三万円未満の世帯は二百九十五円、三万円以上の世帯は五百九十円に改正しました。

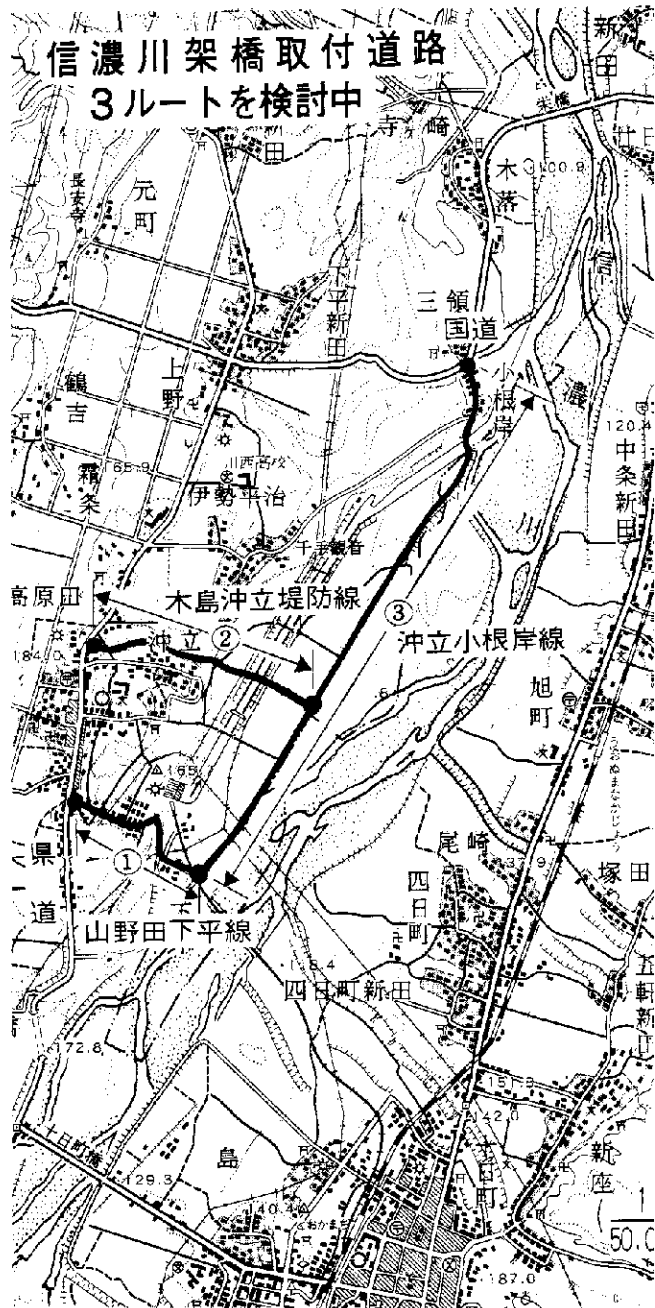
▽信濃川架橋取付道路3ルートを検討中

定、②その他信濃川架橋に関し必要な事項、について意見を述べ、または調査審議をします。委員の任期は二年です。

▽特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
信濃川架橋促進委員会分を付け加えました。

▽火入れに関する条例の制定
川西町の森林、または森林の周囲一キロメートルの範囲内にある土地での火入れに関し、森林法に基づき、許可申請の手續きなどを定めました。

▽国民健康保険条例の一部改正
保険料の賦課額の最高額を三十五万円に改める、などです。



補正予算

▽五十九年度一般会計補正予算 (第一号)

歳入歳出にそれぞれ四十二百七十三万五千円を追加し、予算の総額は二十八億二千六百三十八千円となりました。

歳入で目立つものは、前年度繰越金の三千五百一十二万六千円の増です。

歳出では、豪雪対策基金積立金が二千万円、それから、北越北線第二セクター出資金の百万円、生ごみ処理容器購入費補助金の百六十五万円、信濃川架橋関連測量調査委託料の二百万円など、新しい事業での予算の追加が多く含まれています。

▽五十九年度国民健康保険特別会計補正予算 (第一号)

予算総額の増減はありません。予備費を総務費に回し、人事異動による給料などを手当てしました。

▽五十九年度農業共済事業特別会計補正予算 (第一号)

三十八万八千円を追加し、予備費を回して、病害虫防除機設置補助金などに充てました。

▽五十九年度地域休養施設特別会計補正予算 (第一号)

千六百六十五万円を追加し、歳入歳出総額をそれぞれ八千二百一十一万二千円としました。

事業収入を千六百六十一万円増やしたのと、賄材料費や売店仕入費などの費用を七百二十七万六千円増やしたのが主な事項です。

信濃川架橋促進委員会委員

(敬称略)

- 会長 三郎 (山野田)
- 副会長 次文 (山野田)
- 委員 坂場 (山野田)
- 委員 馬場 (山野田)
- 委員 北松 (山野田)
- 委員 羽清 (山野田)
- 委員 小押 (山野田)
- 委員 星上 (山野田)
- 委員 滋戸 (山野田)
- 委員 丸丸 (山野田)
- 委員 小桑 (山野田)
- 委員 田中 (山野田)
- 委員 保馬 (山野田)
- 委員 馬場 (山野田)
- 委員 北松 (山野田)
- 委員 羽清 (山野田)
- 委員 小押 (山野田)
- 委員 星上 (山野田)
- 委員 滋戸 (山野田)
- 委員 丸丸 (山野田)
- 委員 小桑 (山野田)

保護司

太田 長栄さん



「社会を明るくする運動」に 理解と協力を

犯罪を防止すること、そうした人たちの更生、立ち直りについて、すべての国民が理解を深め、犯罪のない明るい社会を築くことは、みんなの願いです。

七月一日から三十一日までの一か月間、法務省の提唱で「社会を明るくする運動」が実施されてきて、今年が二十四回目に当たります。

川西町でも、保護司会が中心となり実施委員会を構成し、種々の活動を行っています。

犯罪の防止と更生には地域の方の理解と協力が重要です。本年も「社会を明るくする運動」のための募金をお願いし、これからの活動や施設の援助に努めることになりました。経費多端の折ですが、一戸二百円程度のご協力をお願いします。

ねん

きん

つながる 公的年金制度

もう一度加入期間の 確認を

あなたは、過去の厚生年金保険期間など、忘れていた加入期間はありませんか。

短い加入期間であっても、国民年金をはじめとして、私たちの生活を支えてくれる年金制度は、互いにそれぞれの加入期間をつなぎ、通算老齢年金が受けられる制度となっています。

もう一度自分の年金期間を確認して、老後生活への備えをおきましょう。

短期加入者のための 通算制度

現在、二十歳以上の人は、だれもが必ずいづれかの年金制度に加入し、老後の所得保障として年金が受けられるようになって

ています。

しかし、長い人生、一つの職業をずっと続ける人ばかりではありません。サラリーマンから自営業にというように、職業を替えた人は、加入する年金制度も変わりますので、一つの年金制度だけで長期の加入期間を満たすことができず、年金が受けられない人も出てきます。

これでは、せっかくの年金制度の意味がなくなり、各年金制度の加入期間を合わせて、一定の年数になれば、それぞれの制度から加入期間に応じた年金が受けられるようになります。

この年金を通算老齢年金とい

- ▽通算対象となる公的年金制度
 - 国民年金
 - 厚生年金保険
 - 船員保険
 - 国家公務員共済組合
 - 地方公務員等共済組合
 - 私立学校教職員共済組合
 - 公共企業体職員共済組合
 - 農林漁業団体職員共済組合
- なお、次のような期間は対象となりません。

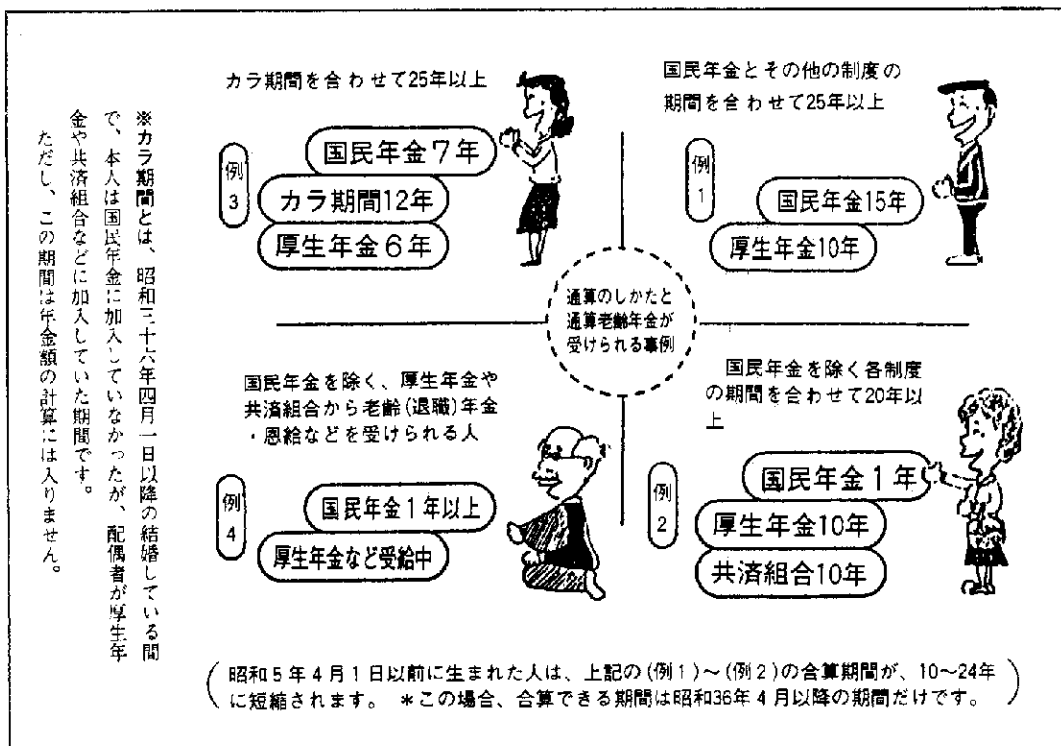
- ▼国民年金では
- ①加入した期間の合計が一年に満たないとき
- ▼厚生年金保険・船員保険では

ぶくし

一日までの期間

▼各共済組合

- ① 一年以上引き続いていない期間
- ② 昭和三十六年四月一日以降、脱退手当金を受けた期間
- ③ 昭和三十六年四月一日以降、どの年金制度にも加入しないときの昭和三十六年三月三十一日までの期間





▲「落ち葉が入らないようていねいに植えましょう」



押木徳次さん(元町)は、町行造林優秀作業班員として表彰される。この後「町行造林10年」を発表。



▲「植えたら根元を踏みつけて」



▲高鳥衆議院議員や諸里十日町市長の姿が見えます

緑を育てよう

第十二回魚沼地方植樹祭

第十二回魚沼地方植樹祭が、先月十五日に、節黒城跡付近で行われました。梅雨の期間ですので、雨が心配でしたが、この日は真夏を思わせるような日ざしとなりました。

魚沼地方の植樹祭ですので、小千谷市、十日町市、三魚沼の代表が勢ぞろいしま

した。上野小学校の五、六年生は「上野

緑の少年団」を結成しているので当然ですが、町内の各小学校からも六年生が参加し、それに十日町市の「野中緑の少年団」が加わり、参加者は千人近くになりました。

式は午前十時に始まり、あいさつ、緑

た。

みんなが力を合わせ、緑を守り育て、うるおいのある川西町をつくっていきましょう。

この日は、節黒城跡山開き祭りも行われ、山は遅くまでにぎわいました。

化功労者の表彰などと続きました。

記念植樹は十一時半ごろからで、キャンプ場近くの山五アールに、千二百本の杉を植えました。

この後、郷土芸能を楽しみながらの昼食会に移り、帰りははぎざんかの苗木がプレゼントされました。

緑や自然を

大切に

小林勝利君

(上野緑の少年団)

五月の修学旅行で日光の杉並木を見学しました。りっぱな杉並木のところが赤らやけて枯れていました。杉並木だけでなく、バスの窓から見える杉の木も枯れているのが目立ちました。新聞の記事によると、日光だけでなく、富士スバルラインの四合目ふきんのシラビソ、オオシラビソの木が五、六十本も枯れているということです。アスファルトほそや、車のはい気ガスで枯れるということです。

ぼくが杉の木や新聞の記事に注意するようになったのは、去年の五年生のとき、先生か



ら「来年は緑の少年団員になるんだ。」という話を聞いてからでした。それまでのぼくは、木の枝は折るし、花はいじめるし、草花を育てようという気持ちは少しもありませんでした。

緑化ポスター・標語・ 習字コンクール

特選 (植樹祭実行委員会会長賞)

☆ポスターの部

- 小林 貴宏 君 (千手小3年)
- 村越 広太郎 君 (橘小4年)
- 滋野 聡子 さん (橘小5年)
- 小海 裕 君 (千手小6年)
- 小林 真一 君 (川西中1年)
- 小林 義浩 君 (川西中2年)
- 丸山 ゆり子 さん (川西中3年)

▼ 小海裕君のポスター



▲ 習字の部の表彰

☆習字の部

- 川崎 久美 さん (上野小3年)
- 高橋 美津子 さん (高倉小4年)
- 桐生 信秀 君 (白倉小5年)
- 星野 友紀 さん (千手小6年)
- 春日 敏幸 君 (川西中1年)
- 中川 喜彦 君 (川西中2年)
- 登坂 知江美 さん (川西中3年)

☆標語の部

- 高橋 宗子 さん (仙田小4年)
森の木は豊かな町をつくるもと
- 小川 忍 さん (仙田小5年)
小さな緑みんなで育てて大きな森に
- 押木 広美 さん (上野小5年)
愛の手で緑を守り育てよう
- 角谷 諭 君 (上野小6年)
育てようきれいな緑は街の顔
- 畠山 悟志 君 (千手小6年)
ひろげようみどりを守るやさしさを
- 清水 学 君 (千手小6年)
さわやかな緑の空気ぼくの町
- 米山 育夫 君 (川西中3年)
川西を緑でつつむ植樹祭



▲ 威風堂々の大名行列 (節黒城跡山開き祭りがドッキング)

▼ アトラクション (上野小6年生の「白虎隊」・「キマリマシタ」)



緑の少年団は、緑を育て守っていかねばなりません。幸いにも川西は緑がいっぱいです。日光や富士山の木のように枯れた木は目立ちません。町の方針で山には木がほとんど植えられています。

ぼくは山へ行くのが大好きです。山に行くと木にかこまれていると、緑のにおいがいっぱい。小枝が風にゆられて、ぼくに「元気かな。」とささやいているようです。とてもいい気持ちです。

ぼくたちの学校では、緑の少年団結団式の時、記念に木を植えました。また、山から山ゆりを取ってきて、グラウンドに八十本も植えました。校長先生は、「山ゆりは川西町の花だから、どんどんふやして校庭を山ゆりでいっぱいにしましょう。」とおっしゃいました。校庭にはたくさんのお木があるので、全校のみんなが一人一本ずつ自分の名札をつけて、その木の持ちようを調べたり、草を取ったりしながら、大事に育てることになっています。上野っ子農園では、各学年でさつまいもやスイカや大豆などを育てることになっています。草花を植えたり、畑作物の世話をすることはみんなが大好きです。汗を流して緑を育てることは、人間にとっても大切なことだと思っています。

ぼくの母は、「木や草花は人間にいい空気を与えてくれるんだから、緑を大切にしなければならいんだよ。」といつも教えてくれます。

これからのぼくたちは、人間を守って緑を大切にすると同時に、昆虫や動物も大切に、自然に感謝しなければなりません。

仙田村青年団の栄光

仙田村青年団が、中魚沼郡の陸上運動会に連続優勝して無敵を誇ったのは、昭和の初期から戦中・戦後にかけてのことであった。

陸上競技が盛んになるのは大正の終わりごろからで、昭和に入ると中魚沼郡青年団（二十二か町村で組織）が、十日町の城ヶ丘グラウンドで陸上競技大会を開催するようになった。第一回の大会で岩沢村が、第二回の大会に中条村が優勝すると、青年たちの間にスポーツ熱は一段と高まり、郡の大会に参加する町村の単位団がしだいにその数を増していった。

仙田村青年団でも、この大会に参加しようということになり、各支部から競技に強い人を選抜し、陸上は登坂敬三郎を主軸に、剣道には二刀流の米山福松を送って戦ったが、初参加にもかかわらず活

躍ぶりは目覚ましかった。

このころ、長距離競走といえは千手村の平野太郎七選手が毎回優勝するものと決まっていたが、第四回の大会で、仙田村の高橋清八が平野を数百メートル引き離して一位となり、大きな拍手と感動を巻き起こした。優勝をかけて臨んだ千手村青年団は、この競争で加えられた総合得点で惜敗を余儀なくされ、ときの團長川崎三が、長髪を剃り落として閉会式に臨ん

町史の窓

だエピソードは知られている。

スポーツ熱は、仙田村内の若者たちの間に着実に浸透していき、以後は、田中武らを中心に白倉・赤岩・中仙田・仙田校区の青年たちも加わって、毎年、何人かの強い選手が郡大会に自主参加し、そのたびに大会記録を更新して仙田青年の存在を示した。

青年団から村に要請があつて、増田哲男や役場の茂野与吉らが奔走し、昭和十年には仙田村として正式に代表選手を送った。この年の郡大会では、中村正守が四百メートルに優勝したのをはじめ、田中武・高橋敏晴・桐生昌平・登坂

豊作・高橋嘉平・登坂正春・高橋正吉・中条秀雄らの選手が上位入賞を果たし、下船渡村青年団に次いで総合二位となった。

仙田村は、郡大会の優勝旗を増田克治が寄贈していることから、これを他村の手に渡すまいと誓い、毎年、村の大運動会を開催して、好記録を出した選手を郡大会に送るようになった。

村の大運動会に優勝を目ざして、夜ともなれば支部ごとに猛練習が行われた。節句や春祭りに出稼ぎから帰った青年衆が、雪の消えるのを待ちかねたように新道を飛び

回り、先輩のコーチで厳しい練習を積み、自信と実力をつけて大会に臨んだのである。

中仙田校のグラウンドは、当時としては目を見張るほど広かった。直線で百メートル競走ができたし、一周二百メートルのコースも取れた。この屋外運動場に、村大会の優勝を目ざして仙田村中の若者たちが集まった。

当日ともなると、競争に参加しない女子青年団員は選手の接待やサービスに忙しく、あるとき、頼もしい選手の足に若い女衆が焼酎を吹きかけてやるのが、男子たちの者の必勝の意欲をいやが上にも



中魚沼郡青年団陸上競技大会に5年連続優勝した仙田村青年団(昭和15年十日町中学校で)

盛り上げるのであった。

恒例の青年運動会の日には学校も休みで、子どもたちはもちろん、トツツア衆も農作業を休んで一日応援に駆けつけ、桜の木の下、クジで決められた縄張りの応援席で声をからした。グラウンドが広くて、競技が開始されても選手の顔はよく分からなかった。拡声機で放送するような時代でもなくて、会場の中央に立てた長いさおに、部落名を書いた旗を入賞順に掲揚して勝敗を知らせ、この旗が上がるたびに応援席から大きな喚声が沸き起こった。

こうして、仙田村青年団が、村の運動会で選抜した大選手団を郡大会にはじめて送り込んだのは、軍国調の足音も高くなった昭和十一年の夏であった。果たせるかな、田中武が四百メートルに優勝し、中村正守が四百メ

ートルに優勝したほか、高橋敏晴（八百）、桐生昌平（千五百）、小川伊作、高橋松治、佐藤多作（いずれもリレー）らの選手が各種目に好成績を収め、三年連続優勝を目ざした下船渡村青年団を押さえて初の優勝旗を手にした。

この年（第一回）の優勝を契機に、日中事変がぼつ発した十二年にも優勝し、十三年には三年連続優勝の夢を果たして、真紅の大優勝旗を永年手中に収めた。そればかりか、「打倒仙田」の合いことばの中で十四年にも優勝し、翌十五年には、紀元二千六百年に慶祝もされて五年連続制覇の偉業を成し遂げたのである。

しかし、戦局は日ごとに苛烈となつて、この年以降は郡大会・県大会・神宮大会・東京オリンピックがともに中止されて、スポーツで鍛えた若者の肉体は戦線に投入される。もしも、郡大会が続行されていたなら、仙田村青年団はさらに連続の記録を更新していったかも知れない。

戦後なん年かが過ぎて、中魚沼郡青年団の陸上競技大会が復活されると、この日を待っていたかのように戦前の偉業を受け継ぎ、仙田村青年団の実力は再び発揮されて、昭和二十五年・六年とみごと二年連続優勝の壮挙を成し遂げた。往年の熱い血潮を受け継ぐ現代の若者たちは、この栄光をどう捕らえてくれるだろう。



県大会で200m・800m 継走に優勝(昭和15年弥彦村で)

優良運転者の表彰

茂野軍二さんは
40年表彰に輝く



40年表彰を受ける茂野軍二さん

川西町交通安全協会では、先月二十日に総合センターで、優良運転者表彰式を行いました。
この日は、百三十人の方々が、五年、十年、十五年、二十年、三十年、四十年間の優良無事故運転者として、それぞれ表彰を受けました。

した。中屋敷の茂野軍二さんは、四十年表彰に輝きました。
高地十日町警察署長は、「さらにこの期間を続けてほしい。若者の無謀運転と飲酒運転が目だっているの、皆さんからも若者の暴走をなくすよう監視願いたい」と



駒形所長の講話

述べられました。
また、駒形川西駐在所長は講話の中で、「日常生活の中での時間と車を運転しているときの時間を区別してほしい。車は速度を持っていて、行動半径が広がる。まばたきの間にも十数メートル走ってしまふ。同じ一秒間でもふだんの一秒間のつもりでいると、速度についていけない。車を運転しているときは、早めの対応をして、いい意味でのおくびよう者になつていただきたい」と話されました。

夏の交通事故防止運動



- 夏の道 とばさず無理せず わき見せず
- シートベルトにヘルメット しめて安全 かぶって安全

▶目的 夏の交通事故防止運動は、県民一人一人の自覚によって、正しい交通マナーを身につけ、広く地域、職場で交通安全活動を行い、シートベルト・ヘルメット着用を進め、夏期の交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

▶期間 7月21日から8月20日まで

▶運動の重点

- ①シートベルト・ヘルメットの着用の推進
- ②子供と高齢者の交通事故防止
- ③自動二輪車・原動機付自転車の交通事故防止
- ④無謀運転等の防止

ダム放流にご注意

国鉄信濃川
発電所から

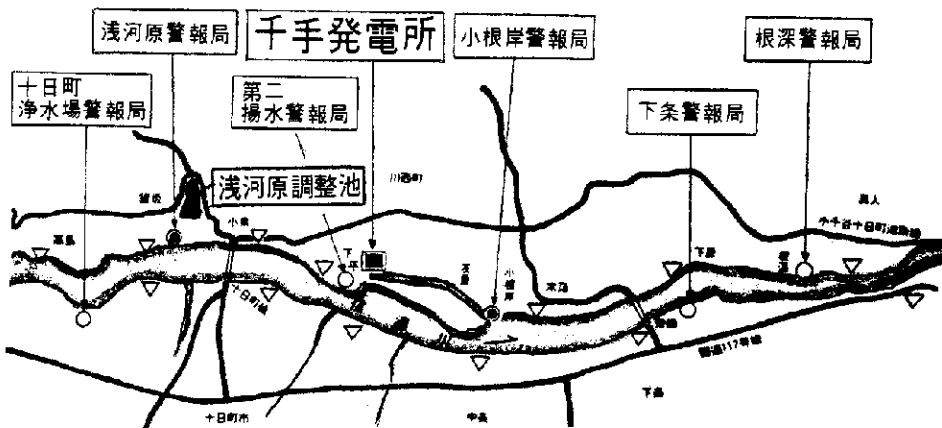
本格的な夏を迎え、水による事故が多発する季節となりました。

国鉄信濃川発電所では、ダムから放流する際は、河川での水難事故防止のため、宮中取水ダムから小千谷発電所までの信濃川沿岸に設置してある警報局のサイレン・スピーカーを吹鳴しますので、早めに安全な場所に退避してください。サイレン・スピーカーが聞こえなくても増水してきたら急いで退避するようお願いいたします。

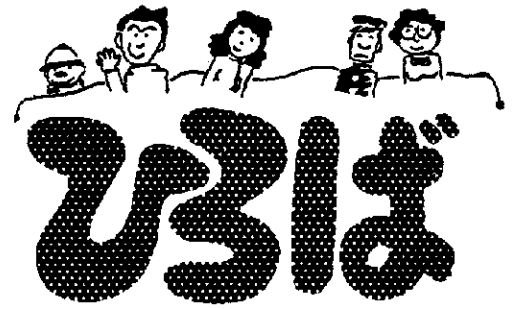
次のような場合は、特に増水が早いので十分注意ください。

▼台風などによる集中豪雨で増水し、ダムから放流するとき

▼発電所の機械が故障し、調整池(浅河原)の余水路から信濃川へ放流するとき
子供が危険な場所を遊んでいたら、一声注意して水の事故から守りましょう。



ダム放流警報施設記号
●スピーカー
○およびサイレン
○スピーカー
▽警告札
放送内容
「ダムから水を流します。危ないからすぐ川から逃げてください」



上野・橘地区の消防演習

上野(三分団)と橘(四分団)の消防団の春季合同演習が、六月二十四日上野小学校グラウンド

機械器具の点検

十七夜(千手観音の祭礼)が来て、大きな雷が鳴るまでは、梅雨が明けないのが例年のようですが、今年はどうでしょうか。

夏休みが近づいて来ました。ロサンゼルスオリンピックももうすぐです。

さて、川西町でも4年に1度の町民体育祭が10月10日に予定されています。夏休みの期間には、家族ぐるみで体力づくりに励みたいものです——。

で行われました。団員は百五十人ほどです。火事のない町にしましょう。



二六公園ブナ林祭り

子供たちの

お目当ては宝さがし

二六公園ブナ林祭りは、先月10日のことでした。

あいにくのくもり空でしたが、ブナの若葉に囲まれて、大人は、民謡と踊り、それにカラオケ、プラス酒で楽しみました。子供たちのお目当ては「宝さがし」でした。若葉汁の味も格別でした。



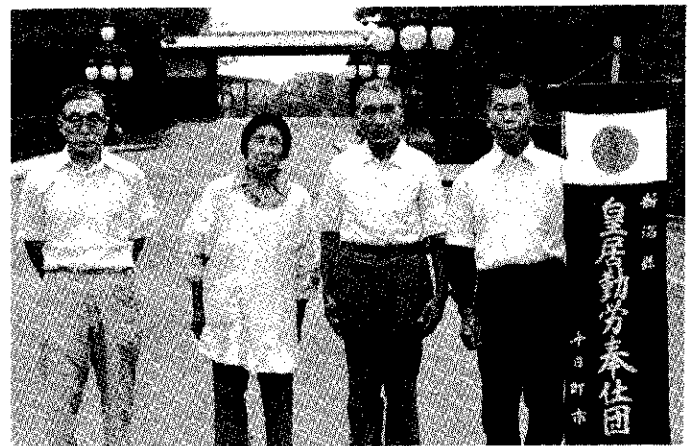
「見つからないなあー」

小脇で「はいポーズ」

6月19日に「広報お知らせ版」を小脇に配りに行ったときの写真です。



「お母さんが捕まえた子うさぎです」
「私は新体操の練習(?)をしていました」



宮殿入口の鉄橋の付近で

皇居の勤労奉仕に参加

下平新田 上村 栄一

皇居の勤労(清掃)奉仕に、六月二十七日から四日間(内東宮御所構内一日)、参加してまいりました。天皇・皇后両陛下、皇太子、同妃両殿下にお目にかかり、皆さんがたいへんな喜びようでした。融和のうちに日程を終え、宮内庁からお褒めの言葉をいただき、帰郷しました。

本年は、希望者からの申し込みが遅れ、町内からは四人だけしか参加できませんでした。

来年も実施する予定です。人員の制限があったり、申請時期が十二月上旬までですので、ご希望の方は早めに申し込みください。

▽申込先

世話人代表 田村才一郎

(☎68) 2395 有線2318

「わが家の家計簿」体験談
新潟県貯蓄推進委員会入選作品

楽しく生きるために……①

渡辺ヒサ (新町新田)

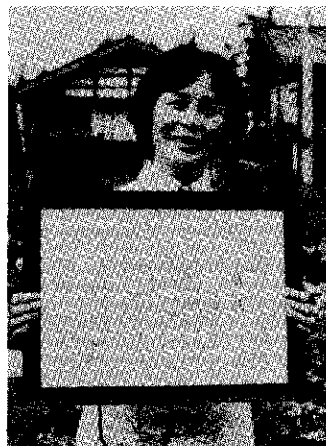
□やりくりの相続

私がか計を任されたのは21年前の昭和37年、結婚して5年目のことでした。当時、農家の嫁としては早過ぎるほどの家計の引き継ぎだったと思います。が、ほんとうは実質的な経営の相続だったので。結婚した当時のわが家の経営は、水田65a、葉たばこ20a、そして工場勤めの夫の収入という典型的な兼業農家でした。義父母と私たち夫婦と義弟の5人の生活が始まったそのころの家計は、もちろん義父母がやりくりしていました。

2年後に長女が生まれ、わが家のことも少しずつわかり始めた昭和35年の冬も間近い11月の始めに、義母が体の変調を訴えて近くの病院で診察を受けたのでした。貧しいながらもなんとか平和な生活をしていたわが家にとって、まさにそれは晴天のヘキレキでした。

義母が胃ガンの宣告を受けたのです。そして翌年4月に帰らぬ人となりました。その6か月の間に手術をすること3回、そして4回目の手術が試験開腹となったのでした。悪いことは重なると言いますが、義母の死後すぐに気落ちしたのか、義父が軽い卒中で倒れいやおうなしに家計を任されたのでした。

子育てと義父の看病とで、葉たばこの耕作もやめました。そして翌37年から私の記帳が始まりました。家計簿といっても、当時はノートに月日と金銭の出入りを記入する、ただそれだけのものでしたが、心の準備のできないままに家計のやりくりを「相続させられた」私にとって、それはたいへんなことでした。



渡辺ヒサさん
家計簿体験談で県入選

新潟県貯蓄推進委員会という組織があります。

貯蓄推進委員会は、日本銀行新潟支店内に事務局を置き、生活設計や計画貯蓄による健全な家計運営の推進や、児童・生徒の正しい金銭観・貯蓄観を養うために、いろいろな活動をして

います。会長は君知事です。その中に、「わが家の家計簿」体験談の募集があり、今回は三回目目にあたります。これに渡辺ヒサさん(新町新田)が応募、みごとに入選されました。

表彰式は、先月二十一日に日銀新潟支店で行われました。

渡辺さんは、家計簿の記帳二十年ものベテランです。「少しずつ貯金して、主人と旅行をしたい」とにっこり話されました。

渡辺さんの作品を今日号から三回に分けて掲載します。

わしの自慢

文化ししゅうを

続けて十年

赤谷

登坂 ヨサさん

登坂さんは、文化ししゅうをはじめ、バッグ、帯止め、手まりなど、いろいろな手芸をたしなまれる。

「十年ほど前に、山菜採りに行き、山から滑り落ちて胸をぶち、半年も入院しまして、そこで同じ部屋にいた人からいろんなものを習ったんです。辛苦仕事はもともと好きでしたが、野良仕事は忙しくてそれまでは趣味は持てませんでした」

「今年のは左手の具合が悪く、今のところ何も作っていません」

文化ししゅうの最初の作品は、居間に飾ってある「ネコ」のこと。

「ネコは裏から刺して、毛をぼかすのがめんどろでした」

このししゅうには二十四、五種もの色のリリヤンを使っている。

「コイは五年くらい前の作品ですが、二、三日ででき上がりしました。気が向いたときにしかやりませんので、長くかかるものもあります」

ほかには、「富士山」や「リス」を刺したそう。

「手まりは去年からです。今までに三、四十は作ったと思います。人上げるので手元にはいくつもありません」

登坂さんは、じっとしてられない性分で、人のしているのに興味があいてくるとのこと。「体の具合が良くなったら、真っ先に未完成のトラのししゅうを仕上げます」

五月に生まれたひまこの童也ちゃんかスヤスヤと眠っている傍らで、話をしていただいた。

「コイ」と「手まり」と登坂さん



お年玉賞品の引き換え 19日が期限です

お年玉つき年賀はがきのお年玉賞品引き換えは、7月19日が期限です。まだ賞品を引き換えていない方は、お早めにお近くの郵便局に申し出てください。

- ▷ 1等 (電子レンジ) A組 8696 16 A・B組共通 182626、476 024、528616
- ▷ 2等 (折りたたみ式自転車) A組下5けた 18845 A・B組共通下5けた 29663
- ▷ 3等 (手紙セット) A・B組共通下3けた 075、269
- ▷ 4等 (切手シート) A・B組共通下2けた 27、67、92

地下構造の調査

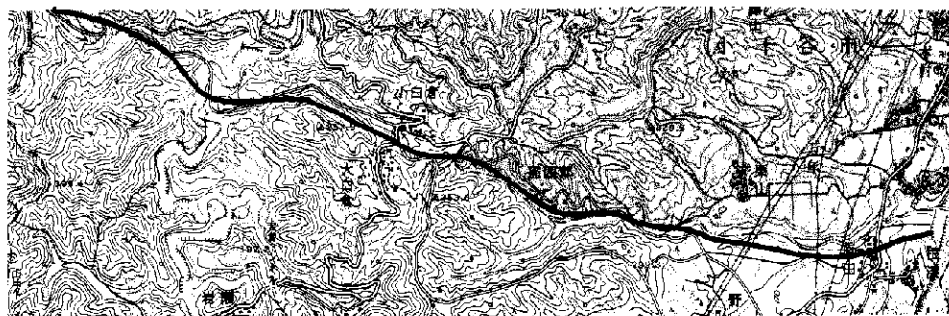
石油資源開発(株)が実施

石油資源開発株式会社長岡鉱業所では、次により川西町地内の地下構造調査を実施します。

- ▷ 調査予定期間 8月1日から9月20日まで
- ▷ 調査域場所 図のとおり
- ▷ 調査方法 小型作孔機で深度12m～20mの孔井を掘り、その底部に火薬を装填し、爆破を行い、人工的な震動波を発生させ、この波動を地表に並べた受振器でとらえ、その地震波記録から地下の起伏した構造や断層などを推定し、石油や天然ガスの集積する場所を判断します。

国内の地下資源の開発は、国の施策でもあります。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

調査地点 (線上のところ)



「行方不明の人を 捜す相談所」開設

警察では、8月1日から8月31日までの1か月間、「行方不明の人を捜す相談所」(無料)を開設します。

- * 皆さんの家族や知り合いの方で
- * 病気などを苦にして家出をした
- * 外出したまま行方が分からなくなった
- * 出稼ぎ先から便りがとだえたなどで、消息が知れずお困りの方は、相談してください。

相談所では、全国各地で亡くなられ、身元の分からない方の写真や、持ち物などの記録を多数用意しています。

相談に出かける際は、なるべく本人の写真や家出当時の状況の分かる資料(身体、服装、所持品などの特徴)を持参ください。

相談所開設の日時場所は次のとおりです。

- ① 常設相談所
県警察本部鑑識課(新潟中央警察署) ☎ 0252-28-2121
- ▷ 相談日 8月1日から8月31日まで(巡回相談日と休日を除く)
- ▷ 相談時間 平口・午前9時から午後5時まで 土曜日・午前9時から午後0時30分まで
- ② 巡回相談所
8月2日・新発田警察署
8月3日・三条警察署
8月6日・上越北警察署
8月7日・長岡警察署
- ▷ 相談時間 いずれも午前9時から午後5時まで

ガイド

情報

警察官(B)の 採用試験

新潟県警察官(B)の採用試験が次により行われます。

- ▷ 資格者 昭和32年4月2日から42年4月1日までに生まれた男子(大学を卒業した人、60年3月31日までに大学卒業見込みの人を除く)
- ▷ 受付期間 7月13日から9月8日までの間
- ▷ 第一次試験日と場所
9月23日 新潟市・長岡市・上越市・新発田市
- ※ 詳細は、十日町警察署か最寄りの駐在所へおたずねください。

「サマージャンボ宝くじ」

7月19日から 予約受け付け

「サマージャンボ宝くじ」(別称・市町村振興宝くじ)の予約受け付けが7月19日から始まります。

- 1等賞金 3,000万円
- 前後賞合わせて 5,000万円
- マイカー賞(特別賞) 2,100台
- (14ユニットの場合)

▷ この宝くじの収益金は(財)新潟県市町村振興協会を通じて、災害対策と明るい住みよい街づくりに役立てられます。

▷ 申込方法等詳細については7月19日の新聞(朝刊)紙上に発表されます。



次の善意が寄せられました。

●町史関係の一助にと

※桑原要雄さん(室島) 二兄弟一
同から五万円

●社会福祉協議会へ

※羽鳥欣一さん(木落) から十万
円

※中条石平さん(大倉) から二万
円

●上村正昭さん(元町) から二万
円

民俗資料

●北堀亀雄さん(小白倉) から、
鉄素滑車、りん棒、力杖

●樋口タツさん(中仙田) から、
麻紋付

●中村義雄さん(木鳥) から、ミ
シン

●高橋利一さん(高原田) から、
青年修身公民書(昭和十八年)、
青年学校教科書(昭和十五年)、
公民教科書(昭和十二年)、青年
訓練手帳

停電のお知らせ

- 7月30日(月) / 正午から午後4時まで、
上野の一部・下平新田・三領・小根岸・木
落・寺ヶ崎。
- 8月2日(木) / 午前8時から午前11時30
分まで、上野の一部・新町新田・塩辛・仁
田・野口の一部。
- 8月2日(木) / 午後1時から午後4時30
分まで、野口の一部・原田・根深。

心配ごと相談

- 7月18日……克雪センター
- 7月25日……総合センター
(行政相談も行います)
- 8月1日……上野連絡所
- 8月8日……橋出張所

- 村越常五郎さん(野口) から、
ミンジャタシ、セナコウジ(大
人用、子供用)、木鉢、山ソリ、
小ムシロ、猫箱、ほか多数
- 丸山精二郎さん(原田) から、
ドバダタキ、ジョレン、土臼、
弓張、葬儀用カミシモ、豆ツケ
棒、ソバ切りボウチョウ、二ナ
ワ、土臼、ほか多数
- 田口寛一さん(木落) から、渡
し舟の櫂



▲品よく伊勢音頭

▼勇壮な剣の舞



「橘地区芸能祭」

町内
さんぽ

出演は
小学生から老友会員
まで

「橘地区芸能祭」が、七月一日の夜、にぎやかに繰り広げられました。

これは、公民館橘分館が地区民に呼びかけ、開いたものです。

大久保三吉分館長は、「これからは毎年続けていき、近いうちには上野地区と合同でやりたいです。町全体に芸能の輪を広げることが夢なんです」と述べられました。

七時半に始まった「芸能祭」は、カラオケに民謡、詩吟に踊りと多種多様。出演者も、小学生から老友クラブ員までと大ぜいでした。

地区外からの友情出演もありました。

観客の拍手に迎え、送られ、会場のムードは盛り上がりつつあります。

橘地区は芸どころです。

野口老友クラブの民謡

いろいろな会があり、練習を重ねています。

「芸能祭」は、日ごろの練習の成果を発表するにはかっこうの場です。十八もの出し物は、九時半過ぎまで続きました。



くらしのこころ

子供の事故に 気をつけましょう

子供を取りまく環境は大きく変わり、今では病気で苦しんだり、亡くなったりする子供は、いぶん少なくなりませんでした。検診などで早期に異常を見つけ、早期に対処することも好結果につながっています。

しかし、大人と同じように、子供の健康に関する話題も感染症から難治性の疾患へ、体の健康から心の健康へと移り変わってきています。

日常生活の中で、子供は危険の見分けがつかないもので、思いがけないことが事故の原因となります。幼児の死亡原因の三分の一以上が事故によるもので、十分注意しなければなりません。

親がちよっと目を離したすきに取り返しのできない事故が起こります。また、乳児では誤飲などによる窒息事故が多く発生し、年少児では飛び出しなどによる交通事故ややけど



が目立ちます。

事故を未然に防ぐには、子供の環境の安全をよく点検し、手の届くところに誤飲しやすいものや熱いものを置かないこと、外出時には子供から目を離さないことなど、周囲の人たちの注意で事故の大半は防げます。

万一の場合にあわてなくてすむように、日ごろから救急箱を整備し、簡単な救急処置法などを頭に入れておくことによいでしょう。

昔も今も子供の健康が私たちの関心事であることには変わりなく、家庭が子供の健康を守る第一の防波堤であることは間違いないありません。子供の健康にかかわる家庭の役割をしっかり踏まえて、将来の社会を担う子供たちをたいせつに育ててゆきましょう。

戸籍の窓から

たかさご——円満に

- ◎新郎 數藤 芳平 沖立
- ◎新婦 山口 幸子 東京都から
- ◎新郎 山家 勝一 木落
- ◎新婦 齋藤 二枝子 神林村から
- ◎新郎 大久保達雄 野口
- ◎新婦 稲田 ヤイ 見附市から
- ◎新郎 相崎 正男 沖立
- ◎新婦 若山 浩美 新町新田から
- ◎新郎 丸山 正樹 新町新田
- ◎新婦 村山 美子 日町市から
- ◎新郎 佐藤 房雄 中島町
- ◎新婦 柴竹美恵子 新潟市から
- ◎新郎 星野 正一 栄町
- ◎新婦 星野由美子 栄町から

うぶ声——おすこやかに

- ◎新郎 水品 正幸 新町新田
- ◎新婦 小林 幸江 長野県から
- 山崎 智彦 正行 長男 永久公社
- 金子 瞳 守 長女 上野
- 内山 葉子 龍一 長女 栄町
- 上村雄一郎 信行 長男 下平新田
- 數藤 岬 信行 三女 沖立
- 丸山 大悟 勉 二男 木落
- 小林佐季子 久良 長女 中仙田
- 小林菜穂子 敏之 長女 中屋敷
- 川崎 佳美 充 二女 發電所通西
- 野澤 邦雄 誠一 二男 野口

6月の交通事故発生件数

件数	死者	傷者	酒気	酒死	計
1	0	1	0	0	6
(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(14)
1	0	1	0	0	6
(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(15)
0	0	0	0	0	0
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
4	0	0	0	0	6
(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)

()内は前年比較

昇天——ごめい福を折る

- 星名 雄二 發電所通西 三八
- 和田 ミヨ 仁田 五七
- 相崎米太郎 学校町 五八
- 大久保鐵雄 野口 六七
- 齊藤 ヤス 東善寺 六八
- 登坂 倉治 中仙田 七二
- 柳 キク 学校町 七六

かわにし 俳壇



太田白南風選

岩瀬 小川 益米
 ◎卵の花のこぼれてをりし用水路
 朴の葉の裏返り吹き植樹落む
 白樺という木の白き山開き
 植える田の水に月あり静かなり
 夏草の中白き花土手の道

三領 水品 律

◎桑の実の紫に蝶上りをり
 若竹の色のさやかに雨上り
 夕づきてなかなか暮れず茄子の花
 城山の記念植樹や青嵐
 校庭の柳大樹に風薫る

霜条 星名 星光

つ、じ咲く鬼押し出しの岩巡る
 白根山越えしやくなげの群落到
 田草取る百米の田の行き来
 鱒を釣る人に釣り人集り来
 郭公の明るく鳴くや山毛榪若葉

中仙田 左木 人

石庭にあでやかに咲き大つ、じ
 家々の形大小笹粽
 病葉と想う一葉をいとほしみ
 赤谷 登坂 酔月
 花一つつけし茄子苗貰ひけり
 五六本残り茄子苗花つけし
 法螺貝の樹海にひびき山開き
 赤谷 高橋チヨノ
 霊峰の梅雨晴にあり山開く
 笠重き心も重く梅雨暗し
 茄子の花ほつほつ咲いて梅雨続く